平成３１年１月９日
北九州市立上津役中学校
校　長　　森　　隆
No.９

平成 30 年度　上津役中だより

明けましておめでとうございます。保護者の皆様には、昨年の本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて生徒の皆さんには、新年を迎え、大きな志をもって登校してきたことと思います。特に 3 年生は、いよいよ大切な高校入試を迎えるとともに、中学校生活最後となる大切な 3 か月です。また、１・2 年生にとっても学年を締めくくり、進級へ向けてラストスパートする大切な時間です。頑張ってください。

ところで、昨年を振り返ると、学校全体としては落ち着いた雰囲気で学習できたと思っています。学習だけでなく体育大会や文化発表会などの学校行事や部活動やクラブ活動での活動など目覚ましい活躍があったことに素直に喜びたいと思います。しかし、生徒一人一人に目をやると、学校に登校したくてもできない生徒や学習や進路・人間関係に悩みを抱えている生徒など、様々な問題もあります。本校の一人一人を大切に問題の解決に全力を尽くして参りたいと考えています。学校に登校できない生徒においては、様々な原因がありますが、人間関係や友人関係の悩みであれば、学級や学年の生徒の優しさや思いやりによって少しでも軽減できれば、と思っています。そして、学級や学年、学校全体が温かい学校の雰囲気にできるように努力していきたいと考えています。

バレー部の男女が、新人市内大会に全力で挑みました！

男女ともに新人市内大会が、12 月 25 日と 26 日に北九州市立総合体育館で、行われました。また、12 月 27 日には、北九州市立総合体育館で 1 年生の市内大会が行われました。

◇　男子バレー部

山本君の高いブロック

海野君のフローターサーブ

原田君のジャンプサーブ

下村君の必死のレシーブ。4 番は山本君

12 月 25 日、3 校の予選リーグに臨みました。初戦は、板櫃中との対戦でした。セットカウントは 0-2 でしたが、スコアは 19 対 25 と 20 対 25 の惜敗でした。2 試合目は二島中との対戦で、1 セット目が 24 対 26、2 セット目は 27 対 25 で、セットカウント 1-1 の互角の戦いとなりました。3 セット目もシーソーゲームを繰り返し、最後は 22 対 25 で惜敗しました。二島中との対戦では実力差が全くないので、どちらが勝ってもおかしくない状況で

山野君のサーブと平島君のアタック

手に汗握る素晴らしい試合となりました。予選リーグの２試合ともに全く歯が立たない相手ではなかっただけに、生徒たちも悔しさを滲ませていました。この悔しさを今後の練習に生かして、頑張ってほしいと願っています。

ところで、2 年生エースの山本君が、相手のアタックしたボールにブロックのワンタッチでアウトした際に、審判に向かって「ワンタッチしました」と自己申告し、相手に得点を与えた場面には感激しました。勝負にこだわり、チーム一丸となって必死に闘っている最中、フェアプレーの精神で審判に告げる態度は、本当に立派です。山本君の真面目さ、純粋さを感じた場面でした。このことはスポーツを志す者にとっては、素晴らしいことなのです。全ての生徒が、この純粋な気持ちをもっていてほしいと思います。

27 日の１年生の市内大会は、3 校の予選リーグで２勝、決勝戦でも勝利し、ブロック優勝することができました。おめでとうございます。今後の活躍に期待しています。

◇　女子バレー部

12 月 25 日は、3 校の予選リーグが行われました。初戦は洞北中との対戦でしたが、1 セット目は緊張の為かプレーが固くなりリードされましたが、27 対 25 で逆転勝ちしました。2 セット目は地力に勝る上津役中が 25 対 16、セットカウント 2-0 で勝利しました。2 戦目は大蔵中で、1 セット目 25 対 21、2 セット目 25 対 16 の 2-0 で勝利しました。これで 3 校の予選リーグ 2 勝となり、翌日の決勝トーナメントに進出しました。トーナメント 1 回戦の相手は西区の木屋瀬中で、大変な接戦となりました。1 セット目は、序盤相手のサーブで崩され、5 対 16 で苦戦を強いられていました。その時、1 年生の日高さんのサービスエースが次々と決まり、10 本連続でサーブを続けて 17 対 16 となりました。その後一進一退でしたが、最後はセットカウント 2-0 で接戦を制しました。その時の選手たちの歓喜の表情は、とても印象的でした。

佐藤さんの高いジャンプのアタック

柏木さんの懸命なレシーブ

エース深島さんの強烈なアタック

センター満行さんのブロック炸裂

左から熊谷・日高・竹林さんのサーブ

この後、ベスト 4 をかけて、門司区 1 位の松ヶ江中と対戦しました。2 セット共に 15 点を奪えず、セットカウント 0-2 で敗退しました。この日市内準優勝を勝ち取り、県大会に出場する松ヶ江中だけにかなりの実力差を痛感させられたゲームでした。しかし、その中でも最後まで諦めずに必死に

戦う選手たちの姿勢は、必ず今後の大会へ生きてくると思います。現に、12 月 27 日は１年生の市内大会、28・29 日は自由が丘高校でカップ戦、１月４・５・６日は福岡市に遠征に行って練習試合を積み重ねます。この地道な努力が来年度の夏の大会の礎になることを信じています。

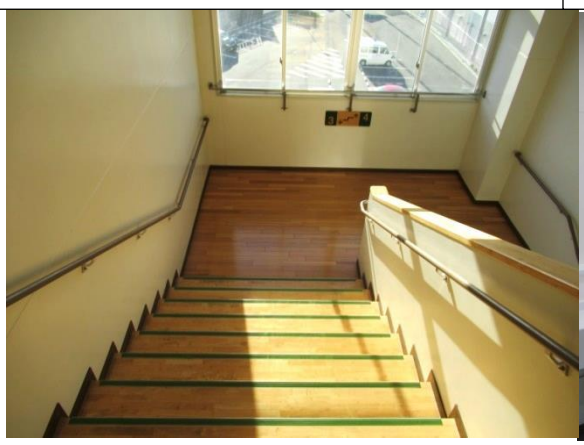
27 日の１年生の大会は、３校の予選リーグで１勝１敗の２位となり、ブロックの３位決定戦で勝利しました。結果、ブロック３位で賞状が授与されました。おめでとうございます。予選リーグで二島中に惜敗した時の悔し涙が、今後の成長につながるものと思っています。

新しい年になって、みんなの使う廊下がピカピカに輝いています。

１階、職員室前廊下。床が輝いている

４階、教室前廊下。床の輝きが明るさを作る

階段・踊り場にもワックスが掛かって美しい！



美しいトイレは、使う人の心を映し出している

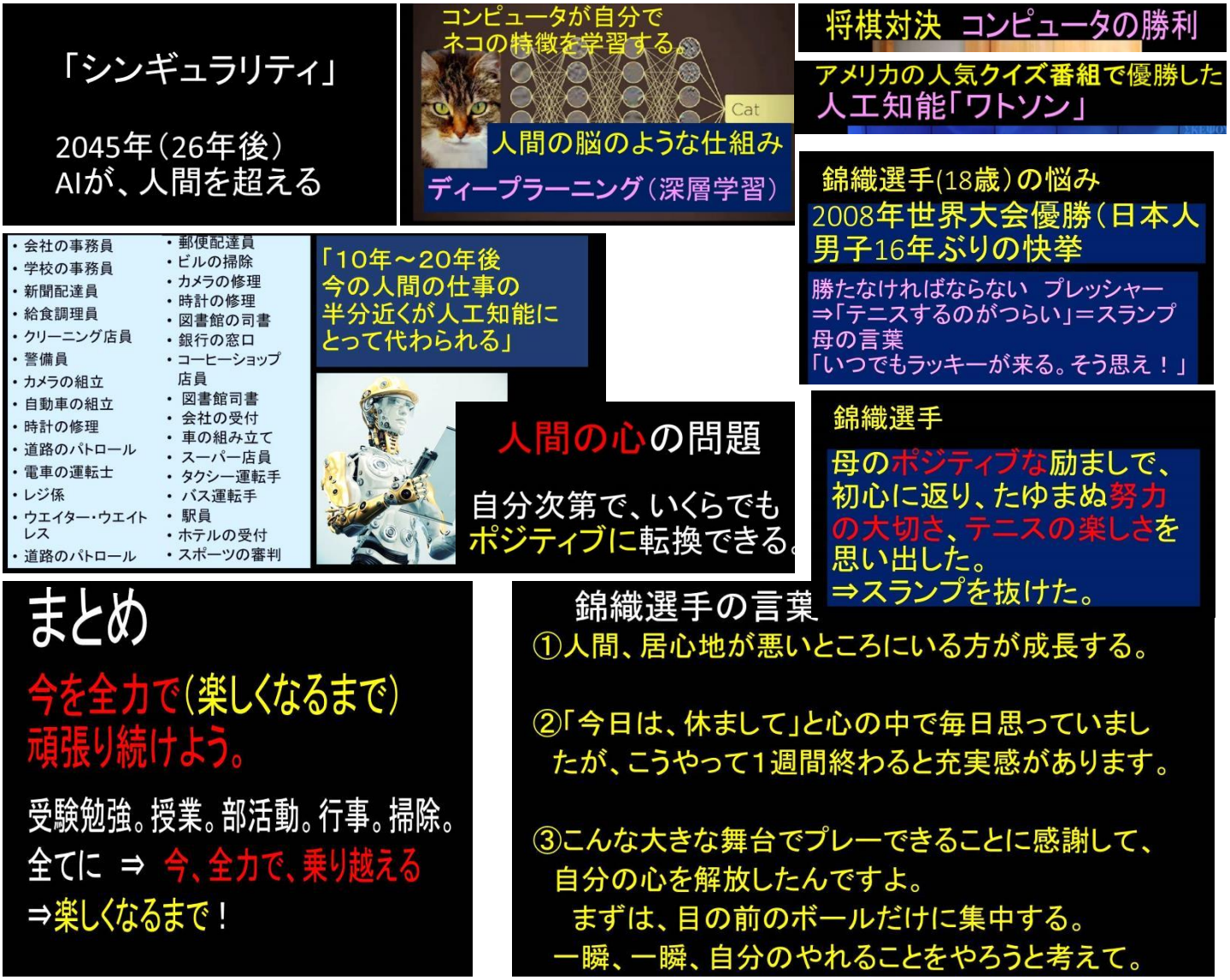
皆さんが登校してきたときに、気が付いたでしょうか？皆さんが毎日使う廊下が、きれいに磨かれ、ワックスが掛けられています。皆さんが学校を休んでいる間の冬休みに、1 階から 4 階にかけてのすべての廊下と階段を、校務員の松藤さんが一人で、黙々と丁寧に廊下を掃除して磨き上げた後に、ワックスがけをしてくれました。ワックスがけは１度縦に塗り、乾いてから横に塗っています。生徒の皆さんが、新年を迎え、気持ちよく学校生活が送れるように手間暇をかけて、心を込めて行ってくれました。また、松藤さんは、１年に２度トイレの床と便器を磨いてくれています。床はポリッシャーという床磨き専用の機械で、便器は丁寧に雑巾がけをしてくれています。お陰で本校のトイレは、とても美しく保たれています。本当にありがたいことです。ぜひ、松藤さんの温かい心を感じ取って、トイレを丁寧に使ってください。

また、このことから学べるのは、我々が快適な生活を営んでいられるのは、多くの方々が心を込めて仕事をしてくださっているお陰だということです。我々は電気がなければ、水道がなければ１日たりとも安心して生活ができません。そこで働く方がいるから生活できているのです。ですから、世の中の多くの人々が人のために一生懸命働き努力しているからこそ、快適な生活ができていることに感謝して生活しましょう。松藤さんに会った時、ぜひ明るく元気な声で心を込めて感謝の言葉を伝えられたら、と願っています。

新しい先生が、赴任されました。

昨年末で、本校の２年副任（英語科）の「森中正之」先生が、一身上の都合により、退職されました。離任式の時に、お別れをしました。きっと森中先生は、皆さんのことを見守ってくださると思います。

さて、森中先生の代替として、「平田実己」先生が２年生の英語の授業を担当します。明るく若い先生だけに、皆さんと同じ若い感覚で指導していただくことができます。平田先生から多くのことを学び、吸収して頂きたいと思います。また、事務室の先生として、「釜賀眞理子」先生が、加わっています。事務室は、陰で皆さんの学校生活が過ごしやすくなるように、支えてくれています。顔を合わせたら感謝の意味を込めて、爽やかなあいさつをしましょう。始業式で、全校生徒に紹介しました。

今を全力で、楽しくなるまで頑張り続けよう！

2045 年、あと 26 年先にシンギュラリティ（技術特異点）が起こる。と言われています。シンギュラリティとは、人工知能が発達し、人間の知性を超えることによって、人間の生活に大きな変化が起こるという概念を指します。人工知能が人間の脳を超えると、人間の生活環境は大きく変わり、これまで人間にしかできなかった多くのことが機械によって代替されると予想されています。従って、生徒の皆さんの将来が人工知能と共存し、豊かで楽しく明るい人生が送れるようにと思ってお話ししました。再度思い出して、考えていただければと思います。始業式で、お話しした内容のポイントを掲載させていただきます。